

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年5月24日時点)

➤ **露軍が各正面で攻勢を強め、ウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続する一方、ウクライナ軍は火砲や砲弾、防空ミサイルなどの不足に直面する中で防御戦闘を継続**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT23年8月18日)

: 死者約18万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

: 死傷者46.5万人以上 (英国防省24年5月4日)

「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT23年8月18日)

: 死者3.1万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上 (UN23年12月4日)

- 「ウ」第65旅団報道官は、ザポリヅジャ州**ロボチネ村**は**両軍の火器管制下**に同時にあるが、村の**大部分**は現時点まで**「ウ」軍陣地**であると表明(5月15日)
- 「ウ」南部防衛軍共同調整プレスセンター長は、露部隊が南部、特に**スタロマヨルスケ地区への攻勢を活発化**させていると発言(5月16日)
- ゼレンスキー大統領は、「ウ」軍が**ハルキウ前線の状況を安定**させたとし、露軍の突破は**最大10km**で、準備されていた**第一防御線に到達**しただけであり、露軍突破の原因は**西側製防空システムの欠如**にあると発言(5月17日)
- 露国防省は、18日: ハルキウ州**スタルツィヤ村**、20日: ルハンスク州**ピロゴリウカ村**、22日: ドネツク州**クリシチウカ村**、23日: ドネツク州**アンドリウカ村**を解放したと発表(5月23日)
- シルスキー「ウ」軍総司令官は、以下のように発言(5月23日)
 - ハルキウ方面について、露軍が**ヴォウチャンスク市街戦で停滞**かつ**突撃部隊**に多くの損傷を出し、その後も**活発な攻勢を試み**ているが**奏功していない**。
 - チャシフ・ヤール方面について、**激しい戦闘**が行われており、露軍が**最新のT-90M戦車、BMP-3歩兵戦闘車、BMD-4装甲輸送車**を投入しているが、「ウ」軍の**対戦車装備**や**FPVDローン**で**排除**されている。

- 「ウ」メディアは、ミサイル攻撃により、クリミア半島のベリベク露空軍基地に所在する**MiG-31 × 2機**、燃料等の倉庫が炎上したほか、ヴィシュネヴェ村(ベリベク基地から約70km)地域で、**S-400** が攻撃を受けて炎上したと報道(5月15日)
- 露国防省は、クリミアに飛来した**ATACMS × 5発**を迎撃したと発表(5月16日)
- 「ウ」軍は、19日に**セヴァストーポリ**において、「ウ」軍の攻撃が**露ミサイル艦「ツィクロン」**に損害を与えたと発表。英国防省は、無人機と**ATACMS**の複合攻撃によるものであり、同艦がカリブルを搭載するカラクルト級4隻の内の1隻である(2022年以降に黒海に所在)と表明(5月21日、23日)
- 「ウ」ハルキウ州当局は、露軍が**S-300またはS-400 × 15発**で**ハルキウ州の民間インフラ**、特に印刷所を攻撃し、7人が死亡、28人が負傷と発表(5月23日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域

- 独ラインメタル社は、「ウ」に**防空分野の合併事業**を設立することを計画と発表。また、**今月から9月までに、マルダー1A3歩兵戦闘車を60両**提供すると発表(5月16日)
- プーチン大統領は、「ウ」側による**ベルゴロド**等の国境地域に対する攻撃が継続したために、**安全地帯・緩衝地帯を作らざるを得なくなった**ため、ハルキウ攻勢を実施と発言(5月17日)
- ゼレンスキー大統領は、動員あるいは戒厳令発令中に、**契約に基づき軍務を遂行する**のと引き換えに**受刑者を仮釈放**することを認める**法案**に署名(5月17日)
- 米国防総省報道官は、「ウ」領内でのみ米国製兵器が使用可能という方針を変更したのかとの問いに、「**立場に変化はない**。」と返答(5月17日)
- 露国防省は、南部軍管区において、**非戦略核兵器**の準備及び運用を実践的に習熟するための**演習の第一段階の実施を開始**したと発表(5月21日)



国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等